

トップコート

ル ブ ラ ス
LUBRUS



 ラインナップ

*1: トップコート処理に際し、化成処理後の乾燥が必要です。

防錆処理 (下地)	化成 処理	トップコート*1	総合摩擦係数	最終色調	耐食性 (SST)*2		
					白錆 (hr)	赤錆 (hr)	
亜鉛系めっき	白	無	0.30 - 0.40	白銀	120~500	240~2,000以上	
		LUBRUS	C33	0.30 - 0.35	クリア 識別着色可能 (赤、青、緑)	240~720	1,000~2,000以上
			C24	0.23 - 0.26			
			C14	0.12 - 0.15			
	C11		0.09 - 0.12				
	黒	無	0.30 - 0.40	黒	96~500	240~2,000以上	
		LUBRUS	K24		0.23 - 0.26	240~720	1,000~2,000以上
			K14		0.12 - 0.15		
K11			0.09 - 0.12				

*2: 耐食性は下地のめっき種により変動します。
耐食性の白錆判定において白モヤは含んでいません。

トップコートにより耐食性向上、摩擦係数の調整を実現

 処理工程



亜鉛系防錆めっき後、トップコート処理実施

 外観



クリア
※識別着色可能 (赤、青、緑)
下地: 亜鉛めっき+三価白色化成処理



黒
下地: 亜鉛めっき+三価黒色化成処理

艶が増し光沢性向上





耐食性 一塩水噴霧試験 SST

SST		0 hr	240 hr	720 hr	1,560 hr
LUBRUS (クリア) 下地：亜鉛めっき + 三価白色化成処理					
腐食面積率	白錆	—	0/5 0%	5/5 5%	5/5 60%
	赤錆	—	0/5 0%	0/5 0%	0/5 0%
LUBRUS (黒) 下地：亜鉛めっき + 三価黒色化成処理					
腐食面積率	白錆	—	0/5 0%	5/5 40%	5/5 90%以上
	赤錆	—	0/5 0%	0/5 0%	1/5 10%

Memo
